

畳表の張替

～ 広島畳協同組合様 ～

デイサービスセンターなごみの郷(落合)の畳スペースは15畳あり、開設から約16年半が経過してかなり傷んでいました。そんな中、9月23日、広島畳協同組合の皆様が広島県健康福祉局地域福祉課を通じて畳表替えのボランティアに来てくださいました。

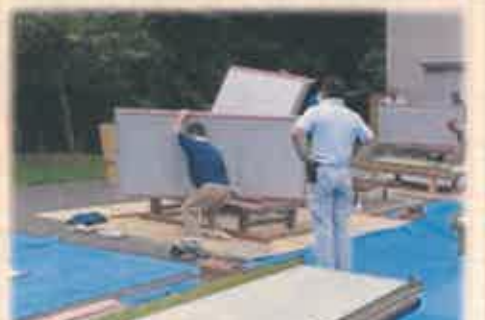


広島畳協同組合様は、毎年9月の第3月曜日の「敬老の日」と9月24日の「畳の日」に因んで福祉施設の畳表替えのボランティアを15年以上に渡りずっと続けていらっしやるとのこと。大変ありがたいことに、今年は当法人を選んでいただきました。

15畳すべてを取り外し、秋の訪れを感じる少しひんやりとした中、作業は外の駐車場で行われました。12名の職人さんが来てくださり、作業は一気に開始となりました。昔ながらの手縫いで、一針一針丁寧に仕上げられていました。畳表を畳床に取り付ける作業、縁をつけ畳表とともに縫いつける作業はとても力強かったです。まさに“一畳入魂”とでも言うのでしょうか“ザクツザクツ”と針を通す音が響き、心地の良い秋の風と共に香るイ草の香り…そこには日本の原風景がありました。

仕上がりは見事な青畳で光り輝いていました。一瞬にしてダイルームはイ草の香りで満たされ、癒しの空間となりました。翌日以降にいらっしやったデイサービス利用者様から「イ草のええ香りがするねー。」「懐かしいねー。」と、職員からも「癒しの香りです。」「元気が出ます。」と喜びや感謝の声があちらこちらから聞こえてきます。

広島畳協同組合の皆様、素敵な機会をまことにありがとうございました。心を込めて表替えして下さった畳、これからも大切に使用させていただきます。



介護支援専門員 廣木 佑介

西日本豪雨災害の復旧・復興支援のため、7月に予定していたフリーマーケットを中止していましたが、豪雨災害で被災された方に少しでも多くの義援金を贈るため、9月8日(土)に「豪雨災害復興支援フリーマーケット」を開催しました。

“あいあいねっと”の食品を活用しているパートナーシップ団体さんの中にも被害を受けられたところ、近くの被災者を支援されているところなどがあり、そういった団体さんを中心に出店いただきました。

「ベーカリー ノイエ」さんは安芸区中野東にある出来立ての手作りパン、無農薬野菜の栽培・販売のお店です！「ジョブハウス ノイエ」として就労支援やこども食堂もされています。この度の豪雨災害で被災され、1日も早い復興を目指し、いち早くパン作りを再開されています。そこで作られた沢山の美味しそうなパンを販売してくださいました。実際、どのパンもととても美味しくて大人気で、ついつい、買いすぎてしまいました(笑)♪



パートナーシップ団体の「おかず倶楽部」の堀川さんと「野呂高原ブルーベリー」の中別府さんは、豪雨災害で被災し復旧作業をしながら、災害で怖い思いをした子供たちに、野呂高原の動物や植物と触れ合うことで命の大切さを伝えたり、癒しの時間を提供するイベントを行われたりされています。朝早くから野呂高原ブルーベリーさんから、子ヤギ 2 匹とアローカナの小鳥とお母さん鳥、コールドックが来てくれました。アローカナの卵と巢入りの日本ミツバチのハチミツも販売してくださいました。動物と触れ合えるとあり、問い合わせがあるほど大人も子供も楽しみにされていました。子ヤギへのミルクやり体験もでき、子どもも大人もしっかり癒されました。

その他、似顔絵、サンドイッチ、手作りパン、フェアトレード商品、かわいい子供服、おもちゃ、雑貨など 11 店舗が出店してくだり、子どもからお年寄りまで、多くの人で賑わいました。

また、“あいあいねっと”でも遊休品コーナーを設けました。このコーナーでは、購入される方が値段を決めて、お金は義援金ボックスへ直接入れていただきました。このブースで集まった売り上げ 12,756 円は、全て義援金として豪雨災害で被災された方へ寄付させていただきます。第 1 次義援金募集は、11 月 30 日(金)までです。皆様、ありがとうございます。

今後も、楽しくて住みよい地域づくりとなるイベントを行う予定です。今後の予定は、Facebook や HP で確認してみてくださいね。

メゾン・クリアなごみ ～ 感染症予防 ～

秋も深まり随分涼しくなりました。季節の変わり目で体調を崩される方もいらっしゃると思います。そろそろインフルエンザやノロウイルスの季節になりますが、メゾン・クリアなごみでも徐々に対策モードに入ってきています。

予防接種、内服投与やうがい、手洗い、手指消毒の励行、玄関にうがいの紙コップ紙マスクの設置、そしてクリアでは去年よりpooky PRO care (プーキープロケア)という空間除菌・消臭効果のある超音波噴霧器も設置して感染症対策を行っています。



去年は、インフルエンザに職員が1名罹患しましたが他職員、利用者様はお蔭様で一人も罹患せずシーズンを過ごすことができました。今年は職員も利用者様も罹患率はゼロになるよう、それぞれ個々で管理を行って知識を深め、感染症を防いでいきたいと思っています。

皆さま、健康でのりきっていきましょうね。

メゾン・クリアなごみ
看護師 岡崎 恵美



町民ふれあい運動会

皆様こんにちは。“なごみの郷”では10月7日(日)に特養利用者様4名とケアハウス利用者様1名の計5名の利用者様と落合小学校で開催された『第35回町民ふれあい運動会』へ行って来ました。



当日は、心配された台風も過ぎ去り、台風一過で運動会をするに相応しく快晴でした。落合小学校までの車中は、車内の窓を見ながら「外に出るのは久々だねえ。」と喜んでおられました。現地に到着し、観覧席を用意してもらって子供たちの玉入れとかけっこを見ながら皆さんで一斉に「頑張れー！」と応援しました。玉入れの応援の時には「私も小さい頃はできやったのよ。」と昔の事を思い出されていました。また、かけっこを見ているときには「やっぱり、子供は元気いっぱいだねえ。私らも若い子たちが頑張っている姿を見ていると元気とやる気を貰ったよ！」と笑顔で話されていました。競技を見学しながら持参していたお菓子とスポーツドリンクを飲食していただきましたが、皆さんは口々に「外で食べるお菓子と飲み物は味が違うねえ。」と大変喜んでおられました。施設へ戻る車中は、「楽しかったよ。また連れて行ってね。」と嬉しいお言葉をいただきました。

この日は、まだ秋風は吹いておらず残暑を感じる一日でしたが、これからは寒くなってきます。体調に気を付けて水分をしっかり摂っていただき、これから来る冬へ備えていきましょうね。



特養 3階 縄手 凌平